

公表

事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名	重症児デイサービスdash		公表日 令和 7年 2 月 1 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		・一人1枚のマットスペースがあり、他児と区別できるように荷物入れがある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		・子供の視界に入りやすく、おもちゃを置いてあると思います。	・おもちゃの整理整頓を心がける。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	3		・個別でゆったり過ごせるスペースがあると良いと思います。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	1		・月に1回振り返る場があると良いと思います。 ・全職員が参画し、意見を言う場になっていない。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		・打ち合わせの機会は設けられているが、職員会議の場が設けられると良い。 ・発信が少ない職員へのアプローチが難しい。 ・必要に応じて、その都度面談が行われている。又定期的にも行われている。	・発信が少ない職員がいる。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		9		・第三者機関からの外部評価を受けていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		・参加した職員から報告をして共有している。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		・今年からホームページ上で公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9		・個々に手術等体調などの変化があった時、皆で共有している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9			・上記等で変化があったときにその都度カンファレンスを行い、共通意識を持つ。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9			・個々にしっかりと支援計画を把握すると良いものになると思います。 ・共有しているが、把握までできていない。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	2		・全員が出来ているとは思えない。特にフォーマルアセスメントにおいては家族からの情報が得られていないこともある。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		・中心となるスタッフがメインで行っている。	・もう少し詳しく共有していく必要あり。

又 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	1	・当日に行くこともあれば、後日もある。	・その日、または後日、支援についての振り返りが行われている。 ・必ずではないが、必要に応じて行っている。 ・全てにおいて時間の都合で出来ないこともあるので、今後振り返り、反省点など共有したい。 ・スタッフ同士、情報共有をしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		・連絡ノートで振り返られるようにしている。	・なるべく実施しているつもりではあるが、後で読み返すと分かり辛かったりしたこともあったので、以後注意して臨むつもりである。 ・その日の終了後は難しいが、翌日等に行っている。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9			・見直しの機会に行っているが、全職員参加が難しい。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	1	・必要に応じて実施している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	1	・必要に応じて行っている。	・内容の情報共有と相互理解を図っているのかもしれないが、自身としてはわかりません。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		・必要に応じて行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	4		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	2	・機会を設けるべく動いたが、実施が実現できなかった。	・活動する機会は設けられているが定期的に交流する機会があると良い。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	3		・実施できれば、更に良くなると思います。 ・報提供は出来るだけしているが、研修はしていない。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9				

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9			・面談時に聞き取るようにしている。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	5		・保護者同士の交流会は設けていない。 ・開催することで親同士のつながり、事業所とのつながりが強くなると思います。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9			年4回の活動予定とInstagramに投稿している。子どもたちの様子がわかりやすいと好評です。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	1		・機会が少ないので、機会が増えるよう職員間で話し合う場を設ける。 ・今後行事が出来ればとアイデアはある。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9			・保護者からの情報提供もあるが、ない時はこちら側から問い合わせも必要である。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9			・食事時間はゾーニングに、アレルギーが触れない距離感をとっている。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9			・問題意識を持ち、職員共通認識を図ることが重要である。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9			・身体拘束を要する児がいないため、実施はしていない。ただ、必要なことは把握している。